

オリジナルケーエス機
(仙台市若林区卸町東、中島功社長、☎022・782・2420)は、1989年創業のラベル印刷会社。価格競争とは無縁の高付加価値な製品作りがモットーだ。他社が嫌がるような手のかかる仕事を「腕の見せ所」とばかりに積極的に手がけてきた。オフセット機によるファンシーシール製造、研究を重ね実用化した二次加工技術、オンデマンドニーズに対応した各種デジタルプリント、CTPの導入による一層の高精細印刷といった取り組みに迫った。(植竹)

同社の商圏は東京が6割。東京には6年前に営業所を開設したこともあり、首都圏の顧客との関係は、緊密になっている。食品、酒類、工業・精密、雑貨、化粧品、医薬部外品、サプリメント、雑貨など、手がけた分野は多岐にわたるが、取り組みの姿勢は一貫している。

常に心がけているのが、付加価値を前面に打ち出したモノづくりだ。同社の全受注の3割を占めるキャラ

企業レポート

オリジナルケーエス

クターシールの製造からそのホリシールの一端が、ま見られる。

SUICA(スイカ)やPASMO(パスモ)といったICカードの表面に貼り付けることで利用者のプライバシーを守る「ドレスタッカー」(通称ドレスタ)は、昨年だけで300種類、100万枚を超えるヒットを記録した。

透明PETフィルムによりプルタブ状の取り口を設けたため、貼りはがしは簡

単。のり残りのない微粘着タイプだ。

同社では岩崎鉄工のオフセットラベル印刷機「TR125」(6色、水なし)でこれを手がけている。高品位さが要求され、発注元のファンシー業者が毎週のように現場に立ち会った。違った4つのパターンを付け合わせてプロセスで印刷するのだが、これが非常に難しい。

校正は平台のUVオフセット校正で、版はCTP。ターゲットは1パターンずつで、それぞれが悪くとも8割は合わないという。同じUVオフセット印刷だが、「枚葉と巻き取り」水ありと水なし「CTPとアナログのPS版」の違いは大きい。こんなときの対処には、製版に関するノウハウの蓄積が物を言う。

中島社長は、「その印刷機

の特性が理解できるように、デザインを見ただけでどんな色見になるかを予見できるように。例えば、ベタに色を合わせたうえで網の濃度を調整するのがポイントというように、何年かかけてパターンをマニュアル化した。ただスケジュールが非常にタイト。うまく再現できていない場合は、すぐに製版し直して印刷するというような芸当ができないと対応できない」と説明する。

同社の特徴は、印刷に在り、最も重視しているのが二次加工技術だ。

ロール・ツー・ロールのシルクスクリーン印刷によるラメ入り樹脂の厚盛り技術は、1年がかりで習得した。透明基材にオフ輪で印刷したうえに、平圧タイルのスクリーン印刷機を使ってラメ入りの樹脂を厚盛りし、抜きとカブ上げまで行うという手法だ。

従来は枚葉機によるもの



間欠機や特殊な加工機が並ぶ工場内

「ドレスタッカー」は昨年の大ヒットだった(商標登録及び特許取得済み)

CTPの導入を意欲したうえで機種選定だった。そのCTP「Plate Rite FX870」は2月後半にも据え付けられる。「NS1250」の特性とCTPの再現性は2年間にわたって検証した。樹脂凸版である程度の品質が見込めれば、オフにかかる負担が少なくなる。商業向けのラベルの多くであれば、十分すぎる品質という評価だ。「FX870」はオフセットCTPとしても活用する方針という。

社名に込められた思いを物語る数々の新規開発品。それは中島社長が注いだ情熱の結晶だ。休日出勤でテストに励むことも珍しくない。取材の最後にその熱意の源について聞いてみた。

「他社にはまねできない独自の追求。付加価値のあるモノづくりを意識してきた。自分の性格的にも根が凝り性で勝ち気。頼まれた仕事をできないとは決して言えない。顧客の要求が高品質化に向かっていて、常に新しい発想をしなければいけないと思っていますよ」中島社長は笑いながら答えてくれた。

独自性で市場をけん引

当ができないと対応できない」と説明する。

同社の特徴は、印刷に在り、最も重視しているのが二次加工技術だ。

ロール・ツー・ロールのシルクスクリーン印刷によるラメ入り樹脂の厚盛り技術は、1年がかりで習得した。透明基材にオフ輪で印刷したうえに、平圧タイルのスクリーン印刷機を使ってラメ入りの樹脂を厚盛りし、抜きとカブ上げまで行うという手法だ。

従来は枚葉機によるもの

が多く、巻き取りで手がけられる企業は全国でも限られている。意匠表現の目新しさが評価され「ドレスタッカー」にも用いられたが、商業分野向けのラベルとしても採用された。

ほかにも、昨年はパターン箔の上への印刷技術を確認。さらなる新技術の商品化も近く、アイデアが枯渇することはない。

中島社長は「創業当初から

平圧機は設備せずに、仙台市内ではまあ珍しかったのに基づくテストを繰り返している」と振り返る。

あらゆる用途のラベルを受注できるように、設備面は充実している。オンデマンドや可変情報印字のニーズに対応するために、インクジェットやレーザー、熱転写のロールラベルプリンターも稼働する。ファンシー

目新しさが評価され「ドレスタッカー」にも用いられたが、商業分野向けのラベルとしても採用された。

ほかにも、昨年はパターン箔の上への印刷技術を確認。さらなる新技術の商品化も近く、アイデアが枯渇することはない。

中島社長は「創業当初から

平圧機は設備せずに、仙台市内ではまあ珍しかったのに基づくテストを繰り返している」と振り返る。

あらゆる用途のラベルを受注できるように、設備面は充実している。オンデマンドや可変情報印字のニーズに対応するために、インクジェットやレーザー、熱転写のロールラベルプリンターも稼働する。ファンシー

目新しさが評価され「ドレスタッカー」にも用いられたが、商業分野向けのラベルとしても採用された。

ほかにも、昨年はパターン箔の上への印刷技術を確認。さらなる新技術の商品化も近く、アイデアが枯渇することはない。

中島社長は「創業当初から

平圧機は設備せずに、仙台市内ではまあ珍しかったのに基づくテストを繰り返している」と振り返る。

あらゆる用途のラベルを受注できるように、設備面は充実している。オンデマンドや可変情報印字のニーズに対応するために、インクジェットやレーザー、熱転写のロールラベルプリンターも稼働する。ファンシー